

宇都宮市立新田小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
基礎学力の定着	全学年を通して、学習した内容を定着させるために、基礎的な語句や問題の練習を繰り返したり、授業の始まりや終わりに確認したりしている。また、AIドリルを利用して、習熟を図っている。	国語、社会、算数の知識・技能に関する問題の平均正答率は市よりも下回った。理科はやや上回っており、体験的な学習や活用問題を丁寧に説明するなどの指導が効果を上げたと考えられる。 「新しく習ったことは、繰り返し練習している」の肯定割合を昨年度と経年比較すると、2・5年で上回った。
思考力・表現力の育成	考えをまとめる際には、考える視点や、書く視点を提示し、1人で考える時間を確保している。「まとめ」や「振り返り」を書く際に、本時で習った言葉を必ず入れるなどの条件を提示し、簡潔な短文でまとめるなど、書くことに慣れるようにしている。	「授業で習ったことを、分かりやすくノートにまとめている」の肯定割合は4学年で市を上回った。また、経年比較でも、3学年の割合が高くなっている。書く指導の効果が現れてきたことが伺える。
学び合いの充実	1人1台端末を活用したり、ペアやグループ活動を取り入れたりするなど、互いの考えを共有する活動を設定し、話し合いを活性化できるようにしている。	グループなどでの話し合いに自分から参加している」の肯定割合が7～9割、「自分の考えを根拠を挙げながら話すことができる」での肯定割合は低いものの、1学年で市の平均を上回った。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・どの教科においても基礎基本の定着に課題が見られる。学習への意欲を持続するために、基礎的な知識を定着させることが必要である。そこで、目標に向かって努力することの大切さに気付かせ、学校での学習態度の改善や反復練習の習慣化を図る。家庭でも自主的に学習に取り組めるように、達成感を感じられる課題を工夫し、学習意欲を全般的に高めていく。また、個に応じたスモールステップで、何度も学び直しができるように、教材を開発したり、学習環境を整えたりする。

・問題文を読み取ったり、自分の考えを表現したりするための語彙力を向上させるために、読書指導を継続して行う。学習した言葉を使って文章を書くなどの活動を取り入れることを通して、自分の考えを整理し、学んだことを生かして表現する力を身に付けさせたい。

・「自ら学び、互いに高め合う児童の育成」を継続し、児童が対話を通して考えを広げたり深めたりできるような授業展開を工夫したり、教材開発を行ったりするなど、分かる喜び、考える楽しさを味わえるようにする。